

令和7年度 第1回川崎市社会教育委員会議日本民家園専門部会 会議次第

日 時 令和7年5月25日(日) 10時～12時

会 場 かわさき宙と緑の科学館 2階学習室1

1 開会

- ・園長挨拶
- ・会議成立の確認
- ・配布資料確認

2 報告事項

- (1) 令和6年度事業評価シートについて

3 議事

- (1) 博物館の事業評価について
- (2) 令和7年度事業評価シートについて

4 その他

- ・今後の予定
 - 7年 7月 第2回部会 令和8年度事業計画について
 - 7年 11月 第3回部会 園内視察
 - 8年 3月 第4回部会 令和7年度事業評価について

5 閉会

【配布物】

- ・社会教育委員会議日本民家園専門部会委員名簿(R7)
- ・令和6年度 川崎市立日本民家園事業計画・評価シート
- ・日本民家園協議会における評価の実施について
- ・川崎市立日本民家園運営基本方針
- ・令和7年度 川崎市立日本民家園事業計画・評価シート
- ・日本民家園展示建造物耐震補強・屋根修理工事実施および計画表
- ・令和7年度 日本民家園開園日カレンダー
- ・川崎市社会教育委員会議規則
- ・日本民家園招待券

社会教育委員会議日本民家園専門部会委員名簿 (R7)

選出区分	氏名	役職等	備考
学識経験者	高橋 典子	(民俗学) シルク博物館 館長	
	野尻 孝明	(建造物保存修理) 公益財団法人文化財建造物保存技術協会常務理事	
	大野 敏	(建築史) 横浜国立大学教授	
	菅野 和郎	(博物館学) 玉川大学教授	
学校教育	滝口 太志	川崎市立小学校社会科教育研究会会長 川崎市立御幸小学校長	市職員
	吉澤 晋	川崎市立大師中学校長	市職員
家庭教育	長谷川 奈央	N P O 法人ままとんきっず会員	
社会教育	今井 邦明	炉端の会会長	
市民公募	服部 公俊		
	大泉 知子		

令和6年度 川崎市立日本民家園事業計画・評価シート

- 評価
- つぎの3段階とする。
- A: 目標を充分達成し成果を上げている
- B: 目標を概ね達成している
- C: 目標を達成しておらず改善が必要である

- 令和6年度の重点目標
- ・園内の安全対策の推進
 - ・園内・古民家内の展示整備
 - ・運営基本方針に基づいた事業運営

項目	令和6年度目標値	令和6年度実績値	令和5年度実績値	令和4年度実績値
総入園者数	138,000人	116,258人	115,373人	101,125人
有料入園者数(有料率)	55,200人(40%)	46,096人(39.7%)	45,281人(39.2%)	39,962人(39.5%)
外国人入園者数	10,000人	11,840人	9,669人	3,617人
総入園料収入	23,551,000円	20,421,240円	19,800,310円	15,848,420円
WEBサイトアクセス数(英語版)	660,000件(40,000件)	568,554件(46,181件)	618,193件	563,409件(25,076件)
来園学校数	160校	148校	166校	149校
伝統工芸館藍染体験参加者数(伝統工芸館事業収入)	1,500人 (5,000,000円)	2,213人 (11,740,449円)	1,990人 (6,677,001円)	1,351人(4,868,521円)

令和6年度

1 保存・研究・展示・普及活動

(1) 文化財の保存・調査研究の推進

現状： 25件の文化財建造物を移築復原し、長期計画を立てて補修工事を実施している他、日常的な維持管理業務として燻煙と清掃を行っている。総合防災事業は、消火設備・防犯設備の機器更新、耐震補強工事が進行中である。資料の整理・研究活動については、建築分野では大岡實博士文庫の保管状況を改善しながら資料整理を進めるとともに、耐震補強工事報告書の刊行を進めている。民俗分野では引き続き暮らしと家をテーマに調査を実施、報告書の刊行を進めている。						
実施目標	中期目標(3年、R6まで)(目標水準)	令和6年度計画(目標水準)	令和6年度実績	今後の課題	R6 評価	中期 評価
1文化財建造物維持管理の推進	屋根修理工事(太田家・作田家・高倉 完成まで) 園路排水整備工事(山下家周辺、工藤家完成まで) 文化財建造物の適切な保存管理の推進(破損箇所随時) 文化財周辺環境の改善(支障木管理等)	作田家屋根修理工事(完成まで) 北村家・船頭小屋・小泉家便所・佐々木家井戸屋根修理工事(2年計画1年目) 山田家・水車小屋他電気設備改修工事設計(完了まで) 山下口周辺園路整備工事(完成まで) シロアリ防除(完成まで) 害獣駆除	作田家屋根修理工事(完成) 北村家・船頭小屋・小泉家便所・佐々木家井戸屋根修理工事(2年計画1年目完了) 山田家・水車小屋他電気設備改修工事設計(完了) 山下口周辺園路整備工事(完成) シロアリ防除(完成) 害獣駆除(4回)	屋根の劣化状況と耐震補強順位の調整	内部評価 / 専門部会評価 B / B	B
2総合防災事業・耐震補強工事の推進	耐震設計(井岡家) 耐震工事(太田家・作田家・井岡家) 既存設備(防災・三澤免震)定期点検・補修(各年1回)	作田家耐震工事(完成まで) 井岡家耐震工事(2年計画1年目) 消防設備点検(2回) 監視カメラ点検(1回) 三澤家免震装置点検(1回)	作田家耐震工事(完成) 井岡家耐震工事(2年計画1年目完了) 消防設備点検(2回完了)・維持補修(完了) 監視カメラ点検(1回完了)・維持補修(完了) 三澤家免震装置点検(1回完了)	老朽化設備の迅速な交換及び廃番機器対応 作業スケジュールの事前把握	B / B	B
3 収蔵資料の整理・調査研究の推進と成果の公表	本館地下収蔵庫の燻蒸実施(2年に1回) 民俗資料の整理推進(資料カードと現物のつき合わせ) 耐震工事報告書刊行(山下家・太田家) 「暮らしと家」調査(報告書2年に1冊刊行)	本館地下収蔵庫の燻蒸実施 江向家保管資料(カードと現物つき合わせ、段ボールからテンパコへ移し替え) 山下家、太田家耐震工事報告書(原稿編集まで) 「暮らしと家」調査(調査実施まで)	本館地下収蔵庫の燻蒸実施 江向家保管資料(カードと現物つき合わせ、段ボールからテンパコへ移し替え) 山下家、太田家耐震工事報告書(原稿編集委託調整中) 「暮らしと家」調査(調査実施まで) 「民家園だより発行」(2回) 大岡資料の写真資料目録データ入力完了 大岡資料整理(原稿・調査ノートⅠ、もんじょ箱へ移し替え) 新規収蔵資料受入(1点、受入から展示まで)	各民家収蔵資料の再調査と整理 継続的な整理の実施(期間等目標の具体化、進捗管理の実施) 「暮らしと家」調査実施・報告書刊行 大岡資料の継続的な整理 収蔵庫の燻蒸実施	B / B	C
評定意見	文化財建造物の維持管理に関しては、数多い対象に関して毎年度良く対応している。今後も、既存修理履歴データの更新による的確な中長期的修理予定と、現場の実態把握に基づいた説得力ある予算要求・獲得を望む。一方で、緊急の破損修繕対策費用についても、蓄積したデータを最大限活用して予算獲得して欲しい。総合防災事業と耐震補強事業も、前記と同様、既往の設備修理歴あるいは耐震対策履歴の記録更新に基づく正確な現状把握による、計画と予算獲得を望む。なお、耐震改修工事報告書委託の件は、今後の工事からは設計監理に一括委託する方法を検討すべきではないか。また、古民家耐震改修に伴う、屋根裏収納場所の減少は、あらためて野外博物館としての見解を確認する必要がある。					

(2) 展示の充実

現状：文化財建造物を野外展示し、それを補うため本館に展示室を設置している。各古民家では地域の民具や年中行事の展示を行っている他、囲炉裏での火焚きや生活用具の製作風景、さらには屋根の葺替えや耐震補強等の工事も展示の一環としてとらえ、作業風景を見せる工夫をしている。本館常設展示室では導入として日本の民家建築の基本を展示し、企画展示室では民俗や建築をテーマに年2回企画展を開催している。また、敷地内も展示として整備を進め、石造物を配置している他、民家の旧所在地に合わせた植栽や、景観にふさわしい案内板の設置を行っている。こうした展示には解説に英文を併記している他、12カ国語パンフレットや4カ国語音声ガイド(日英中韓)を導入し、外国人対応にも力を入れている。						
実施目標	中期目標(3年、R6まで)(目標水準)	令和6年度計画(目標水準)	令和6年度実績	今後の課題	R6 評価	中期 評価
1常設展示及び関連事業の充実	音声ガイドサービスの継続 園内展示整備(継続的美化、パネルのビジュアル化) 古民家解説の充実(古民家めぐり年24回、子供向けの定例化) 大規模工事ごとに見学会開催・解説パネル設置) 生田緑地植生管理計画に合わせた古民家周囲の植込みや畑の整備 車椅子でアクセスできない古民家内部の動画による視聴サービス	音声ガイドサービスの継続(二次元コード、タブレット貸し出し) 園内の展示点検(継続) 民家解説実施(24回) 子供向け民家解説実施(2回) さわれる民家解説開催に向けた準備(試行まで) 工事解説パネル設置(作田、伊藤、園路) 展示環境維持のための除草(継続) 100周年記念植樹 車椅子でアクセスできない古民家内部の動画視聴サービス(合掌造り2層3層) 園内民俗解説パネルの補修(5点以上)	音声ガイドサービスの継続(二次元コード、タブレット貸し出し) 園内の展示点検(1回) 民家解説実施(24回) 子供向け民家解説実施(2回) さわれる民家解説開催に向けた準備 アクセシビリティに関する研修開催(1回)及び関連団体との連携 視覚障害者向けの民家案内(1回) 工事解説パネル設置(作田、井岡) 展示環境維持のための除草(継続) 川崎市制100周年記念植樹 車椅子でアクセスできない古民家内部の動画視聴サービス(岩澤家) 園内民俗解説パネルの補修(16点) 緑化フェア関連事業の実施(生け花展示、期間中の無休開園等)	園内展示点検の恒常的な実施 工事の進捗に合わせた解説パネルの更新 車椅子でアクセスできない古民家内部の動画視聴サービスの実施	B / A	A
2企画展示及び関連事業の充実	民家博物館としての特性を活かした企画展示開催(年2本) 一般の人が手取りやすい解説図録の刊行(年2冊) それに伴う展示解説(会期中月1回)やワークショップの開催(年2本)	新企画展2本開催(前期:「くらやみ一夜と眠りのフォークロア」、後期:「おじいさんは山へしば刈にー山と川の生活史Ⅰー」、図録刊行まで) 企画展示解説(一般向け10回、子供向け2回) 企画展におけるさわれる展示の設置(1回) 企画展に伴うワークショップの開催(2回) 企画展における解説パネルの英訳シート作成(各企画展) 企画展終了後の資料整理	企画展2本開催 図録刊行(1冊) 企画展示解説(一般向け7回、子供向け4回(うち1回体験型解説)) 企画展におけるさわれる展示の設置(7回・展示解説の中で実施) 企画展に伴う関連講座の開催(2回) 企画展における解説パネルの英訳シート作成(各企画展) 企画展における子ども向けクイズ型ワークシートの設置(1回) 広報・ポスター作製(2回) 企画展終了後の資料整理	企画展示の広報強化	B / A	A
評定意見	目標として掲げた項目はすべて達成できている。加えて、民家園利用者のアクセスビリティ向上に積極的に取り組んでいることも評価できる。ただし、日本民家園は近世の人の暮らしぶりを保存、来園者に理解していただく博物館であるという特性から、バリアフリーなどが難しい施設でもある。今後は、身体の不自由な方などの受入体制をどのように整えるか、民家園ならではのアクセシビリティの向上について検討してほしい。また、触れる展示など、これから充実させていくとすれば、民家に展示している民具類の整備も重要になってくる。保存面からも展示している民具類のメンテナンス方法について検討されたい。 企画展や関連事業、図録など充実した展示活動が継続的に実施されていることも高く評価できる。ぜひ広報面を強化して、広く周知させる工夫をお願いしたい。					

(3) 教育普及活動の充実

現状： 教育普及活動として体験講座・ワークショップ等を実施、特に子どもや親子向けの行事、当日自由参加型の行事に力を入れている。また施設の特長を活かし、古民家の旧所在地と連携した事業として各地の芸能公演や物産展などを行っている。この他、学校との連携を進め、小学生の学習プログラムや中学生の職業体験の受け入れを行っている。また、民家園の運営を支える炉端の会（ボランティア）・民具製作技術保存会（市民活動団体）と協力者会議を開催し、事業運営の改善を進めている。さらに、指定管理者は伝統工芸館や古民家カフェの運営を行っている他、さまざまな自主事業を行っている。						
実施目標	中期目標(3年、R6まで)（目標水準）	令和6年度計画(目標水準)	令和6年度実績	今後の課題	R6 評価	中期 評価
1 各種事業(講座・ワークショップ・催事)の充実	自由参加型・体験型事業の充実 生田緑地他館等との連携事業の充実(年2回) 旧所在地交流事業の実施(年1回以上) 伝統芸能公演の実施(年1回) 市民団体との連携による昔話公演(年25回)	体験講座の実施(竹細工、わら細工、機織り) 夏休み子供向け講座の実施(1回) 当日参加型体験事業(昔遊び、七夕他) 科学館との連携事業実施(七夕、月見) 旧所在地交流事業の実施(南砺市) 伝統芸能公演の開催(1回、歌舞伎) 昔話公演(25回) 夜間公開(2日間) ゴールデンウィークでのワークショップ実施(2種)	体験講座の実施(竹細工、わら細工、機織り全12講座、うち夏休み親子体験講座2講座) 当日参加型体験事業(昔遊び、民具着用体験、七夕、井戸汲み、蚊帳体験、草バッタ作り、お正月遊び) 科学館との連携事業実施(七夕、月見) 旧所在地交流事業の実施(南砺市) 伝統芸能公演の開催(1回、歌舞伎) 昔話公演(26回) 夜間公開(2日間) ゴールデンウィークでのワークショップ実施(ずりだし、かぶと作り) 市民館講座への協力(高津市民会、講座1回)	教育普及事業中の危機管理 旧所在地交流事業の実施方針検討	B / A	A
2 学校連携の充実	学校団体の体験・見学受入(年間150校) 学習教材の継続的な見直し 職業体験・総合学習等のプログラム受入 学校郷土資料室等整備支援(2校、メンテナンスの実施)	小学校向け体験プログラム・見学の受入(150校) 中学校の職場体験受入 ギガ端末の活用(児童向け事前学習資料、教員向け説明資料の配信) 博物館実習、実測実習等大学の利用受入 学校郷土資料室等整備支援(1校)	小学校向け体験プログラム・見学の受入(121校) 中学校の職場体験受入(5校) ギガ端末の活用(授業で活用できる教員向け説明資料の配信) 博物館実習生受入れ(9校) 学芸員課程等大学受入れ(4校) 大学特別利用受入れ(22校) 大岡資料等の閲覧件数(6件) 学校郷土資料室等整備支援(2校) 高等学校の総合学習支援(1校)	学校見学の質の向上 小学校体験プログラムの定期的な見直し 教材用民具のメンテナンス ギガ端末の有効活用	B / A	A

3市民活動団体との連携	炉端の会、民技会との連携の強化 両者との協力者会議による運営改善(年1回) 生田緑地マネジメント会議・自然環境管理 保全会議との連携(年7回会議出席)	協力者会議開催(1回) 炉端の会との協働(各種行事での協働、 チーム活動の活性化支援) 民技会新人研修(1回) 生田緑地マネジメント会議への出席・意見 聴取(5回)	協力者会議開催(1回) 炉端の会との協働(各種行事での協働、30 周年記念事業の実施(講演会、記念植 樹)、チーム活動の活性化支援、学習会の 開催(7回・うち1回ゲスト講師)) 民技会新人研修(1回) 生田緑地マネジメント会議への出席・意見 聴取(2回) 緑化祭における皇室との交流事業(炉端の 会、民技会など6団体)の実施	コロナ後の炉端の会、民技会との 連携のあり方の再検討	A / A	B
4伝統工芸館・自主事業の充実	本藍の継続的使用のためスタッフの技術向 上(研修継続) 藍染めの魅力の情報発信 自主事業の充実(年5回以上) 古民家カフェの運営(継続) 指定管理者変更になった場合の円滑な移 行 コロナ終息後、外国人向け藍染めプログラ ムの再開	出張ワークショップや物販の実施 体験・講座のスムーズな申込みためのシス テム運用(継続) SNSを使用した伝統工芸館からの情報発信 (継続) ミニ展示開催(5回) 展示品の販売(Tシャツ他) 藍染め新商品の開発(5点) 自主事業イベントの充実(ペーゴマ大会他) 春と秋の古民家カフェ営業(運営継続) 通販事業への積極的な取り組み(新商品の 追加、広報強化) ワークショップ等のイベントのインバウンド対 応 工芸館2階を活用した藍染め以外のイベン トの実施 緑化フェア開催に向けた協力	出張ワークショップや物販の実施(ラプーナ 川崎、緑化フェア会場、川崎日航ホテル) 体験・講座のスムーズな申込みためのシス テム運用(ウラカタ、フォームズの継続利用) SNSを使用した伝統工芸館からの情報発信 (Xの継続利用) ミニ展示開催(10回。端午の節供、干支他) 展示品の販売(Tシャツ、節供タペストリー 他) 藍染め新商品の開発(3アイテム×各柄3種 以上。サコッシュ、飾り付きタペストリー他) 自主事業イベントの充実(ペーゴマ大会、日 本酒講座、おさんぽバッグ他) 春、秋、お正月の古民家カフェ営業(運営 継続) 通販事業への積極的な取り組み(新商品の 追加7点、広報継続) ワークショップ等のイベントのインバウンド対 応(参加受け入れ) 工芸館2階を活用した藍染め以外のイベン トの実施(自由研究「和紙・紙漉き」) 緑化フェア開催に向けた協力(会場装飾や フェアロゴ柄の手拭い納品、ワークショップ 出展など)	インバウンド向けイベント、または、 インバウンドが参加しやすいイベン トづくり オンラインショップによる販売の売り 上げの底上げ 緑化フェアへの協力と通常業務充 実の舵取り	B / A	A
評定意見	教育普及活動に関して、目標を上回る成果を上げることができた。来園者のさまざまなニーズに対応した講座・ワークショップを開催しており、学校や他の博物館との連携事業、旧所在地との交流事業も精力的に実施できている。特に、小学校から大学まで幅広く連携がなされており、民家園を活用した新たな展開が期待できる。令和6年度は、協力者会議も開催され、民技会、炉端の会といったボランティアグループとの連携強化も図られた。 また、伝統工芸館では、自主事業の多彩なイベントが好評であったことが事業収入の大幅な増収からも裏付けられている。					

2 運営・管理活動

(1) 博物館経営の強化

現状：平成25年度より指定管理者制度を導入し(5年毎に更新)、学芸業務と全体の統括業務は川崎市が、管理運営業務と広報業務を指定管理者が担っている。市の職員、指定管理者の職員、いづれも資質向上のため各種研修に積極的に参加し、来園者の満足度向上を目標にリピーター確保のための工夫を重ねている。						
実施目標	中期目標(3年、R6まで)(目標水準)	令和6年度計画(目標水準)	令和6年度実績	今後の課題	R6 評価	中期 評価
1運営体制の整備・研修の充実	民家園運営基本方針の策定(完了まで) 研修機会の確保(市職員年1回以上) 事業評価の実施と活用(毎年実施・公表) 次期指定管理への円滑な移行(現指定管理は令和4年度まで) 民家園ルールブックの整備(継続)	運営基本方針の周知(公式サイト等) 庁内外の研修への参加(市職員1回以上) 事業評価の実施と活用(実施と公表) 窓口の事例等を明文化した民家園ルールブックの整備(継続)	運営基本方針の周知(公式サイト掲載、冊子印刷) 庁内外の研修への参加(市職員1回以上) 事業評価の実施と活用(実施と公表) 窓口の事例等を明文化した民家園ルールブックの整備(継続) 他博物館との連携(資料貸出1回、視察2回、全国文化財集落施設協議会の開催)	窓口対応事例のさらなる蓄積と共有化	B / B	B
2広報の強化	公式サイトの充実 Twitter・YouTubeを活用した広報 生田緑地他施設・他局・観光協会・地元商店会・神奈川県等と連携した広報 指定管理者構成企業のルート等を活用した広報の充実 指定管理者変更になった場合の公式サイトの円滑な移行 コロナ終息後の訪日外国人に向けた広報	X・YouTubeの継続的な広報活用 Xフォロワー数の増加(計3500人[5/22現在3,378人]) 来園者によるSNS等発信の促進 指定管理者構成企業のルート等を活用した広報 生田緑地他施設・他局・観光協会・神奈川県等と連携した外国人向けを含めた広報 催事等リリースの作成と発送の充実 近隣駅へのポスター掲出、チラシ配架の強化	Xの継続的な広報活用 正門・西門での動画による広報 Xフォロワー数の増加(3月末時点3,701人) 指定管理者構成企業のルート等を活用した広報(東急電鉄駅へのポスター掲出の継続) 生田緑地他施設・他局・観光協会・神奈川県等と連携した外国人向けを含めた広報(県や市によるSNSへの情報提供他) 催事チラシ、ポスターの作成と発送 近隣駅へのポスター掲出、チラシ配架の強化(登戸駅他小田急線沿線)	Youtubeを用いた広報 企画展の広報強化 外国人向け広報の強化、外国語リーフレットの内容更新 反響の大きい優れた広報先の新規開拓 マスコミへのリリース発信の強化	B / B	B
評定意見	全体的に年度計画は概ね達成されている。 入園者に関する定量的データは、多くの項目で前年度実績を上回ることができた。 民家園運営基本方針は、外部から関心を持たれて調査を受けるなど、野外博物館における優れた事例であり、また広く社会・市民に民家園の存在と取り組みを知ってもらうためにも、さらに周知に努めるとよい。 職員を各種の研修に参加させている点は評価できる。オンライン同時配信、オンデマンド録画配信される研修は、職場にいながら受講できる長所があり、一方で直接対面による研修は、会場でしか得られない情報や、講師・参加者間の交流・人脈構築等の効果もある。引き続き各種研修に積極的に参加するようにしてもらいたい。また、研修の意義を高めるため、受講内容や成果の園内職員全体への共有展開についても、十分に考慮すること。 本項に立項・記載すべきかは検討を要するが、資料貸し出し、展示協力、特別利用、各種相談等、他の博物館や一般に対する連携・協力等を、事業評価項目に加えることも考慮するとよい。 広報について、マスコミへの働きかけが計画通りではなかった部分がある。記事化等、無料で取り上げてもらえる場合もあるので、地元支局や地域紙・地域放送局等への働きかけを積極的に行うとよい。 民家園は全国区の存在・知名度であるのに、催事の広報物送付先が、市内施設中心になっている。エリアを広げ、各地の博物館等へも発送することを検討するとよい。 外国人入園者数の伸びが好調であるが、これは民家園からの情報発信の成果に加え、外国人の場合、来園者による発信が次の来園者を呼ぶ面もあると思われる。外国人向け広報の充実、来園者が発信したくなる工夫も、継続してもらいたい。					

(2) 利用者の利便性・安全性の向上

現状： 来園者サービス施設として救護室や授乳スペース等を整備、ベンチやテーブル等のリニューアルも進めている。また、バリアフリー化として古民家の敷居にスロープを用意、園路についても手すりの設置や土舗装化など対応を進めている。この他、来園者へのサービス向上のため、ショップの充実と窓口業務の改善に努めている。危機管理については各種防災訓練を実施、危機管理マニュアルを随時更新している。						
実施目標	中期目標(3年、R6まで)(目標水準)	令和6年度計画(目標水準)	令和6年度実績	今後の課題	R6 評価	中期 評価
1来園者サービスの向上	休憩スペースの充実とメンテナンス 民家園の特色を活かした継続的な商品開発(毎年2点) 指定管理者変更になった場合のショップの円滑な移行 さまざまな来園者に配慮したハード面、ソフト面での環境の整備(バリアフリー、外国人対応)	日陰で座って休める場所の増設、園路の日陰箇所の案内 民家園の特色を活かした新商品・カプセルトイの開発(5点) 券売キャッシュレス決済導入後の検証 ショップ商品表示の日英併記化(継続) 小さな「バリア」の継続的点検と逐次対応 伝統工芸館空調設備の改善	民家園の特色を活かした新商品・カプセルトイの開発(10点。洗濯板、刷毛、畳縁他) 券売キャッシュレス決済導入後の検証(問題点の報告) ショップ商品表示の日英併記化(継続) 小さな「バリア」の継続的点検と逐次対応 伝統工芸館空調設備の改善(エアコンの更新) 売払い物販を目に触れやすい場所へ移動し、販売強化	真夏の猛暑への対応検討 伝統工芸館の空調設備の拡充 インバウンドを意識した価格帯の商品開発 現行商品の精査実施とターゲット層の広いオリジナル商品開発	B / A	B
2危機管理体制の整備	園路危険箇所の定期的な点検 危機管理マニュアルの継続的更新 消防署との連携による防災訓練の実施(年4回) 電気系統の定期的な点検 新人警備員の研修充実 来園者の避難経路の再確認	園路危険箇所、落枝・倒木の継続的な点検と対応(通年) 新規スタッフも含めた危機管理マニュアルの読み合わせ ボランティアや清掃スタッフも含めた防災訓練実施(年4回) 古民家の漏電対策として継続的な点検の実施(各棟1回)	園路危険箇所、落枝・倒木の継続的な点検と対応(通年) 新規スタッフも含めた危機管理マニュアルの読み合わせ ボランティアや清掃スタッフも含めた防災訓練実施(年4回) 古民家の漏電対策として継続的な点検の実施(各棟1回)	園内危険箇所の把握と対応強化 災害対応がより身近に感じられる訓練実施	B / B	B
評定意見	来園者サービスに関しては、目標以上の成果を上げている。 ミュージアムショップは、新規商品の開発や陳列方法の見直し等、よく努力している。 キャッシュレス決済が導入され、その利用者も多いが、地形に由来すると考えられる電波状況の不安定については、生田緑地全体の問題として関係機関に改善を働きかける等、支障解消に努めることが求められる。 野外博物館として、夏季の猛暑対策は、入園者の安全のために重要かつ喫緊の課題である。民家園の景観、園内工事の進捗との兼ね合いも考慮しつつ、ハード・ソフト両面に対策を検討し、実施して、事故の未然防止に努めること。 危機管理について、概ね計画通り実施されている。 防災訓練は、計画通りの回数実施しているが、国内では最近も重要文化財建造物の焼損事故が発生しており、訓練は実施し過ぎることはない。様々な想定の下、関係機関と連携し、園内の様々なスタッフの参加を得て、災害時に的確な対応ができるように訓練を重ねてもらいたい。 事故を未然に防ぐために、園路の整備を進め、危険箇所の把握と対処を継続して進めること。					

日本民家園専門部会における評価の実施について

1. 趣旨

日本民家園専門部会において、今後の園の充実発展に資するため、運営管理・事業全般に対する外部評価を実施する。

2. 日本民家園専門部会について

日本民家園専門部会は、川崎市社会教育委員会議規則第 6 条に基づく社会教育施設の円滑な運営を図るために設置される川崎市社会教育委員会議の部会である。また、同規則では日本民家園専門部会の所管事務は「園の運営に関し意見を述べるとともに、事業評価を行うこと。」と規定されている。

3. 外部評価実施の経緯

平成 20 年 6 月に改正された博物館法で、「博物館は、当該博物館の運営状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」と定められた。改定当時日本民家園では、日本民家園協議会において外部委員による事業報告・事業計画の報告を行っていた。川崎市市民ミュージアムでは、協議会とは別に「評価委員会」を立ち上げたが、民家園では協議会と評価委員会の 2 本の会議を運営していくことは事務局の負担が大きいため、協議会において外部評価も実施することとした。

平成 28 年 1 月に社会教育委員会議規則が改正され、専門部会が設置されることとなったため、協議会の役割は専門部会に引き継がれた。

4. 外部評価実施の目的

- ①日本民家園の川崎市立日本民家園運営基本方針に示す「目指す博物館像」と「基本方針」を果たすために、園の充実発展に繋がる改善案を探す
- ②園の独りよがりな運営にならないよう、外部の方（利用者・有識者など）の客観的・率直・公平・多様な意見を聞く
- ③評価項目（年度当初案と結果）を公表することにより、広く日本民家園の業務を周知するとともに、実行性を高める
- ④評価を毎年継続実施する中で、前年度の評価や改善点を次年度以降に繋げる
- ⑤ ①②③④を通じ、職員・協力者（市民）・関係業者のモチベーションを上げる

日本民家園の評価は A B C の評価を下すのが最終目的ではなく、評価審査の過程で出たさまざまな意見や改善案を現場に反映するために行うものである。また、博物館活動は多様であり、数値で測れるもの、質が問われるもの（数値化するのはなじまない）などがある。指標とした数値はあくまで目安であり、目標数値の達成度にあまりこだわることは、却って業務の質を下げることを肝に銘じておかなければならない。また、時代の要請・地域の要請・職員構成などにより、博物館活動に要求されるものは変化するので、評価項それに併せ可変的でなければならない。

令和7年度 川崎市立日本民家園事業計画・評価シート

- 評価
- つぎの3段階とする。
- A: 目標を上回って達成している
- B: 目標を概ね達成している
- C: 目標を達成しておらず改善が必要である

- 令和7年度の重点目標
- ・園内の安全対策の推進
 - ・園内・古民家内の展示整備
 - ・運営基本方針に基づいた事業運営

項目	令和7年度目標値	令和6年度目標値	令和6年度実績値	令和5年度実績値
総入園者数	138,000人	138,000人	116,258人	115,373人
有料入園者数 (有料率)	55,200人 (40%)	55,200人 (40%)	46,096人 (39.7%)	45,281人 (39.2%)
外国人入園者数	13,000人	10,000人	11,840人	9,669人
総入園料収入	23,551,000円	23,551,000円	20,421,240円	19,800,310円
WEBサイトアクセス数 (英語版)	630,000件 (47,000件)	660,000件 (40,000件)	568,554件 (46,181件)	618,193件 (42,348)
来園学校数	160校	160校	148校	166校
伝統工芸館藍染体験参加者数 (伝統工芸館事業収入)	2,000人 (8,000,000円)	1,500人 (5,000,000円)	2,213人 (11,740,449円)	1,990人 (6,677,001円)

令和7年度

1 伝える博物館

(1) 文化財の保存・調査・研究の推進

現状： 25件の文化財建造物を移築復原し、長期計画を立てて補修工事を実施している他、日常的な維持管理業務として燻煙と清掃を行っている。資料の整理・研究活動については、建築分野では大岡實博士文庫の保管状況を改善しながら資料整理を進めるとともに、耐震補強工事報告書の刊行を進めている。民俗分野では引き続き暮らしと家をテーマに調査を実施、報告書の刊行を進めている。

実施目標	中期目標(3年、R9まで)(目標水準)	【参考】R4～R6中期目標	令和7年度計画(目標水準) (◎はR7新規)	【参考】令和6年度計画(目標水準)	評価
1文化財建造物の継続的維持の推進 (運営方針(1)ーアー(ア))	屋根修理等工事(北村家・野原家完成まで・工藤家一部完成まで) 文化財建造物の適切な保存管理の推進(破損箇所随時)	〈1(1)1文化財建造物維持管理の推進〉 屋根修理工事(太田家・作田家・高倉 完成まで) 園路排水整備工事(山下家周辺、工藤家 完成まで)→2(1)2へ 文化財建造物の適切な保存管理の推進(破損箇所随時) 文化財周辺環境の改善(支障木管理等)→2(2)2へ	北村家・船頭小屋・小泉家便所・佐々木家井戸 屋根修理工事(2年計画2年目) ◎野原家屋根修理工事(2年計画1年目) 小破修繕	〈1(1)1文化財建造物維持管理の推進〉 作田家屋根修理工事(完成まで) 北村家・船頭小屋・小泉家便所・佐々木家井戸 屋根修理工事(2年計画1年目) 山田家・水車小屋他電気設備改修工事設計(完了まで) 山下口周辺園路整備工事(完成まで) シロアリ防除(完成まで)→1(1)2へ 害獣駆除→1(1)2へ	
2資料の収集・保存及び資料保存環境の向上 (運営方針(1)ーアー(イ)(ウ))	旧所有者及び旧所在地の民俗資料、民家に関わる建築関係資料の収集と保存 本館地下収蔵庫の燻蒸実施(2年に1回) 定期的なシロアリ防除、害獣駆除 文化財建造物内の燻煙、清掃 収蔵資料の保存場所の確保	〈1(1)3 収蔵資料の整理・調査研究の推進と成果の公表〉 本館地下収蔵庫の燻蒸実施 江向家保管資料(カードと現物つき合わせ、段ボールからテンパコへ移し替え) 山下家、太田家耐震工事報告書(原稿編集まで)→1(1)3へ 「暮らしと家」調査(調査実施まで)→1(1)3へ	シロアリ防除、害獣駆除 文化財建造物内の燻煙、清掃 ◎民俗資料の収集	再掲〈1(1)1文化財建造物維持管理の推進〉 作田家屋根修理工事(完成まで) 北村家・船頭小屋・小泉家便所・佐々木家井戸 屋根修理工事(2年計画1年目)→1(1)1へ 山田家・水車小屋他電気設備改修工事設計(完了まで)→2(1)2へ 山下口周辺園路整備工事(完成まで)→2(1)2へ シロアリ防除(完成まで) 害獣駆除	
3 収蔵資料の整理・調査研究の推進と成果の公表 (運営方針(1)ーイー(ア)(イ)(ウ))	民俗資料の整理推進(山田家) 大岡實博士文庫の資料整理 耐震工事報告書作成 「暮らしと家」調査(報告書2年に1冊刊行) 研究者・研究機関への資料提供	再掲〈1(1)3 収蔵資料の整理・調査研究の推進と成果の公表〉 本館地下収蔵庫の燻蒸実施→1(1)2へ 江向家保管資料(カードと現物つき合わせ、段ボールからテンパコへ移し替え) 山下家、太田家耐震工事報告書(原稿編集まで) 「暮らしと家」調査(調査実施まで)	山田家保管資料の整理(段ボールからテンパコへ移し替え) 大岡博士文庫(写真資料)のデジタル化保存 耐震工事報告書編集(作田家) 「暮らしと家」調査(完成) ◎旧所在地(五箇山地区)の開き取り調査実施 事業評価の実施と活用(実施と公表) 窓口の事例等を明文化した民家園ルールブックの活用 民家園だより(年2回)発行	〈1(1)3 収蔵資料の整理・調査研究の推進と成果の公表〉 本館地下収蔵庫の燻蒸実施 江向家保管資料(カードと現物つき合わせ、段ボールからテンパコへ移し替え) 山下家、太田家耐震工事報告書(原稿編集まで) 「暮らしと家」調査(調査実施まで) 〈2(1)1運営体制の整備・研修の充実〉 運営基本方針の周知(公式サイト等) 庁内外の研修への参加(市職員1回以上)→3(1)1へ 事業評価の実施と活用(実施と公表) 窓口の事例等を明文化した民家園ルールブックの整備(継続)	

(2) 日本の伝統文化を伝えるための展示・教育普及の充実

現状：文化財建造物を野外展示し、それを補うため本館に展示室を設置している。各古民家では地域の民具や年中行事の展示を行っている他、囲炉裏での火焚きや生活用具の製作風景、さらには屋根の葺替えや耐震補強等の工事も展示の一環としてとらえ、作業風景を見せる工夫をしている。本館常設展示室では導入として日本の民家建築の基本を展示し、企画展示室では民俗や建築をテーマに年2回企画展を開催している。学校との連携を深め、小学生の学習プログラムや中学生の職業体験の受け入れを行っている。また、敷地内も展示として整備を進め、石造物を配置している。展示には解説に英文を併記している他、12カ国語パンフレットや4カ国語音声ガイド(日英中韓)を導入し、外国人対応にも力を入れている。					
実施目標	中期目標(3年、R9まで)(目標水準)	【参考】R4～R6中期目標	令和7年度計画(目標水準) (◎はR7新規)	【参考】令和6年度計画(目標水準)	評価
1体感、体験を重視した展示・教育普及活動の充実 (運営方針(1)－ウ－(ア)(イ))	音声ガイドサービスの継続 園内展示整備(継続的美化、パネルのビジュアル化) 古民家解説の充実(古民家めぐり年24回、子供向けの定例) 体感を重視したさわれる民家解説開催 大規模工事ごとに見学会開催・解説パネル設置 車椅子でアクセスできない古民家内部の動画による視聴サービス 民家博物館としての特性を活かした企画展示開催(年2本) 一般の人が手に取りやすい解説図録の刊行(年2冊) 企画展展示解説(会期中月1回)やワークショップの開催 外国人向けの展示への対応 自由参加型・体験型事業の充実 他館への展示協力や資料の貸し出し	〈1(2)1常設展示及び関連事業の充実〉 音声ガイドサービスの継続 園内展示整備(継続的美化、パネルのビジュアル化) 古民家解説の充実(古民家めぐり年24回、子供向けの定例化) 大規模工事ごとに見学会開催・解説パネル設置 生田緑地植生管理計画に合わせた古民家周囲の植込みや畑の整備→2(2)2へ 車椅子でアクセスできない古民家内部の動画による視聴サービス 〈1(2)2企画展示及び関連事業の充実〉 民家博物館としての特性を活かした企画展示開催(年2本) 一般の人が手に取りやすい解説図録の刊行(年2冊) それに伴う展示解説(会期中月1回)やワークショップの開催(年2本) 〈1(3)1各種事業(講座・ワークショップ・催事)の充実〉 自由参加型・体験型事業の充実 生田緑地他館等との連携事業の充実(年2回)→3(2)1へ 旧所在地交流事業の実施(年1回以上)→3(2)1へ 伝統芸能公演の実施(年1回)→3(1)2へ 市民団体との連携による昔話公演(年25回)→3(1)2へ	音声ガイドサービスの継続(二次元コード、タブレット貸し出し) 古民家の展示点検及び民具の管理(継続)民家解説実施(24回) 子ども向け民家解説実施(2回) ◎さわれる民家解説開催 工事解説パネル更新(井岡) 車椅子でアクセスできない古民家内部の動画視聴サービス(船越の舞台等) 園内民俗解説パネルの補修(5点以上) ◎新企画展2本開催(妖怪de古民具展、五箇山で暮らす) 企画展における展示解説(一般向け10回、子供向け2回)、さわれる展示の設置、ワークショップの開催、解説パネルの英訳シート作成(各企画展)、終了後の資料整理 体験講座の実施(竹細工、わら細工、機織り) 当日参加型体験事業(昔遊び、七夕他) 民家内での昔ばなし公演(23回) 伝統芸能公演(人形浄瑠璃) 夜間公開(11月4日間) 炉端の会による火焚き実演及び床上公開 民具製作技術保存会による民具製作実演 年中行事展示(18回) ◎他館への展示協力や資料の貸し出し	〈1(2)1常設展示及び関連事業の充実〉 音声ガイドサービスの継続(二次元コード、タブレット貸し出し) 園内の展示点検(継続) 民家解説実施(24回) 子供向け民家解説実施(2回) さわれる民家解説開催に向けた準備(試行まで) 工事解説パネル設置(作田、伊藤、園路) 展示環境維持のための除草(継続)→2(2)2へ100周年記念植樹 車椅子でアクセスできない古民家内部の動画視聴サービス(合掌造り2層3層) 園内民俗解説パネルの補修(5点以上) 〈1(2)2企画展示及び関連事業の充実〉 新企画展2本開催(前期:「くらやみー夜と眠りのフォークロアー」、後期:「おじいさんは山へしば刈にー山と川の生活史Ⅰー」、図録刊行まで) 企画展示解説(一般向け10回、子供向け2回) 企画展におけるさわれる展示の設置(1回) 企画展に伴うワークショップの開催(2回) 企画展における解説パネルの英訳シート作成(各企画展) 企画展終了後の資料整理 〈1(3)1各種事業(講座・ワークショップ・催事)の充実〉 体験講座の実施(竹細工、わら細工、機織り) 夏休み子供向け講座の実施(1回) 当日参加型体験事業(昔遊び、七夕他) 科学館との連携事業実施(七夕、月見)→3(2)1へ 旧所在地交流事業の実施(南砺市)→3(2)1へ 伝統芸能公演の開催(1回、歌舞伎)→3(1)2へ 昔話公演(25回)→3(1)2へ再掲 夜間公開(2日間) ゴールデンウィークでのワークショップ実施(2種)→3(1)1へ	

2学校教育のニーズに合わせたプログラムの充実 (運営方針(1)ーウー(ウ))	学校団体の体験・見学受入(年間150校) 学習教材の継続的な見直し 職業体験・総合学習等のプログラム受入 学校郷土資料室等整備支援(メンテナンスの実施)	〈1(3)2学校連携の充実〉 学校団体の体験・見学受入(年間150校) 学習教材の継続的な見直し 職業体験・総合学習等のプログラム受入 学校郷土資料室等整備支援(2校、メンテナンスの実施)	小学校向け体験プログラム・見学の受入(150校) 中学校の職場体験受入 GIGA端末の活用(学習資料、教員向け説明資料の配信) 学校郷土資料室等整備支援(1校) ◎虹ヶ丘小学校における展示替え及び周年行事への協力	〈1(3)2学校連携の充実〉 小学校向け体験プログラム・見学の受入(150校) 中学校の職場体験受入 GIGA端末の活用(児童向け事前学習資料、教員向け説明資料の配信) 博物館実習、実測実習等大学の利用受入→3 (2)2へ 学校郷土資料室等整備支援(1校)	
評定意見					

2 安全・安心な博物館

(1) 利用者と文化財建造物を守るための対策の推進

現状： 消防設備・防犯設備の機器更新、耐震補強工事が進行中である。来園者サービス施設として救護室や授乳スペース等を整備、ベンチやテーブル等のリニューアルも進めている。危機管理については各種防災訓練を実施、危機管理マニュアルを随時更新している。					
実施目標	中期目標(3年、R9まで)(目標水準)	【参考】R4～R6中期目標	令和7年度計画(目標水準) (◎はR7新規)	【参考】令和6年度計画(目標水準)	評価
1 耐震対策の推進 (運営方針(2)ーアー(ア))	耐震補強工事(井岡家、江向家) 既存設備(防災・三澤免震)定期点検・補修(各年1回)	<1(1)2総合防災事業・耐震補強工事の推進> 耐震設計(井岡家) 耐震工事(太田家・作田家・井岡家) 既存設備(防災・三澤免震)定期点検・補修(各年1回)	◎耐震補強設計(江向家) 井岡家耐震補強工事(2年計画2年目) 三澤家免震装置点検(1回)	<1(1)2総合防災事業・耐震補強工事の推進> 作田家耐震工事(完成まで) 井岡家耐震工事(2年計画1年目) 消防設備点検(2回)→2(1)2へ 監視カメラ点検(1回)→2(1)2へ 三澤家免震装置点検(1回)	
2防火体制及び豪雨対策、排水整備の強化等による防災対策の推進 (運営方針(2)ーアー(イ)(ウ))	園路排水整備工事(井岡家、北村家) 総合防災システムの点検と更新 老朽化した電気設備の更新 園路危険箇所の定期的な点検 危機管理マニュアルの継続的更新 消防署との連携による防災訓練の実施(年4回) 電気火災予防のための点検 来園者の避難経路の再確認	<1(1)1文化財建造物維持管理の推進> 屋根修理工事(太田家・作田家・高倉 完成まで)→1(1)1へ 園路排水整備工事(山下家周辺、工藤家 完成まで) 文化財建造物の適切な保存管理の推進(破損箇所随時)→1(1)1へ 文化財周辺環境の改善(支障木管理等)→2(2)2へ <2(2)2危機管理体制の整備> 園路危険箇所の定期的な点検 危機管理マニュアルの継続的更新 消防署との連携による防災訓練の実施(年4回) 電気系統の定期的な点検 新人警備員の研修充実 来園者の避難経路の再確認	古民家外構の排水整備工事(井岡家、北村家) 総合防災システムの点検及び修繕・機器更新 ◎山田家・水車小屋他電気設備改修工事(2年計画1年目) 消防設備点検(2回) 監視カメラ点検(1回) 園路危険箇所、落枝・倒木の継続的な点検と対応(通年) 新規スタッフも含めた危機管理マニュアルの読み合わせ ボランティアや清掃スタッフも含めた防災訓練実施(年4回) 古民家の漏電対策として継続的な点検の実施(各棟1回) ◎奥門付近の崖地対策工事(設計)	再掲<1(1)1文化財建造物維持管理の推進> 作田家屋根修理工事(完成) 北村家・船頭小屋・小泉家便所・佐々木家井戸屋根修理工事(2年計画1年目完了)→1(1)1へ 山田家・水車小屋他電気設備改修工事設計(完了) 山下口周辺園路整備工事(完成) シロアリ防除(完成)→1(1)2へ 害獣駆除(4回)→1(1)2へ 再掲<1(1)2総合防災事業・耐震補強工事の推進> 作田家耐震工事(完成まで) 井岡家耐震工事(2年計画1年目)→2(1)1へ 消防設備点検(2回) 監視カメラ点検(1回) 三澤家免震装置点検(1回)→2(1)1へ <2(2)2危機管理体制の整備> 園路危険箇所、落枝・倒木の継続的な点検と対応(通年) 新規スタッフも含めた危機管理マニュアルの読み合わせ ボランティアや清掃スタッフも含めた防災訓練実施(年4回) 古民家の漏電対策として継続的な点検の実施(各棟1回)	

(2) 野外博物館としての園内整備、植栽・植生管理の推進

現状： 民家の旧所在地に合わせた植栽や、景観にふさわしい案内板の設置を行っている。来園者向けの施設として救護室や授乳スペース等を整備、ベンチやテーブル等のリニューアルも進めている。バリアフリー化として古民家の敷居にスロープを用意、園路についても手すりの設置や土系舗装化など対応を進めている。

実施目標	中期目標(3年、R9まで)(目標水準)	【参考】R4～R6中期目標	令和7年度計画(目標水準) (◎はR7新規)	【参考】令和6年度計画(目標水準)	評価
1園内整備の推進 (運営方針(2)ーイー(ア)(イ)(ウ))	景観に配慮した園路の整備 休憩スペースの充実とメンテナンス 様々な来園者に配慮したハード面、ソフト面での環境の整備(バリアフリー、外国人対応) 施設の長寿命化に向けた修繕	<(2)(2)1来園者サービスの向上> 休憩スペースの充実とメンテナンス 民家園の特色を活かした継続的な商品開発(毎年2点)→3(1)1へ 指定管理者変更になった場合のショップの円滑な移行→3(1)1へ さまざまな来園者に配慮したハード面、ソフト面での環境の整備(バリアフリー、外国人対応)	日陰で座って休める場所の増設、園路の日陰箇所案内 小さな「バリア」の継続的点検と逐次対応 伝統工芸館空調設備の改善 介助が必要な利用者に向けたスロープの設置 園内掲示物の日英併記	<(2)(2)1来園者サービスの向上> 日陰で座って休める場所の増設、園路の日陰箇所の案内 民家園の特色を活かした新商品・カプセルトイレの開発(5点)→3(1)1へ 券売キャッシュレス決済導入後の検証 ショップ商品表示の日英併記化(継続)→3(1)1へ 小さな「バリア」の継続的点検と逐次対応 伝統工芸館空調設備の改善	
2植栽・植生管理の推進 (運営方針(2)ーウー(ア)(イ)(ウ))	生田緑地植生管理計画に合わせた古民家周囲の植込みや畑の整備 文化財周辺環境の改善(支障木管理等) 観光資源としての花木の植栽	再掲(1(1)1文化財建造物維持管理の推進) 屋根修理工事(太田家・作田家・高倉 完成まで)→1(1)1へ 園路排水整備工事(山下家周辺、工藤家 完成まで)→2(1)2へ 文化財建造物の適切な保存管理の推進(破損箇所随時)→1(1)1へ 文化財周辺環境の改善(支障木管理等) 再掲(1(2)1常設展示及び関連事業の充実) 音声ガイドサービスの継続→1(2)1へ 園内展示整備(継続的美化、パネルのビジュアル化)→1(2)1へ 古民家解説の充実(古民家めぐり年24回、子供向けの定例化)→1(2)1へ 大規模工事ごとに見学会開催・解説パネル設置)→1(2)1へ 生田緑地植生管理計画に合わせた古民家周囲の植込みや畑の整備 車椅子でアクセスできない古民家内部の動画による視聴サービス→1(2)1へ	展示環境維持のための除草(継続) 文化財周辺環境の改善(支障木管理等) ボランティア団体と連携した畑の整備 花木の管理	再掲(1(2)1常設展示及び関連事業の充実) 音声ガイドサービスの継続(二次元コード、タブレット貸し出し)→1(2)1へ 園内の展示点検(継続)→1(2)1へ 民家解説実施(24回)→1(2)1へ 子供向け民家解説実施(2回)→1(2)1へ さわれる民家解説開催に向けた準備(試行まで)→1(2)1へ 工事解説パネル設置(作田、伊藤、園路)→1(2)1へ 展示環境維持のための除草(継続) 100周年記念植樹 車椅子でアクセスできない古民家内部の動画視聴サービス(合掌造り2層3層)→1(2)1へ 園内民俗解説パネルの補修(5点以上)→1(2)1へ	
評定意見					

3 人の中心にある博物館

(1)指定管理者やボランティア及び地域等と協働した運営の推進

現状：平成25年度より指定管理者制度を導入し(5年毎に更新)、学芸業務と全体の統括業務は川崎市が、管理運営業務と広報業務を指定管理者が担っている。市の職員、指定管理者の職員、いずれもが資質向上のため各種研修に積極的に参加し、来園者の満足度向上を目標にリピーター確保のための工夫を重ねている。また、民家園の運営を支える炉端の会(ボランティア)・民具製作技術保存会(市民活動団体)と協力者会議を開催し、事業運営の改善を進めている。さらに、指定管理者は伝統工芸館や古民家カフェの運営を行っている他、体験講座・ワークショップや子どもや親子向け行事、当日参加型の行事など様々な自主事業を行っている。					
実施目標	中期目標(3年、R9まで)(目標水準)	【参考】R4～R6中期目標	令和7年度計画(目標水準) (◎はR7新規)	【参考】令和6年度計画(目標水準)	評価
1市と指定管理者との連携による運営 (運営方針3-ア(ア))	自主事業(自由参加型・体験型事業)の充実(年5回以上) 本藍の継続的使用のためのスタッフの技術向上(研修継続) 藍染の魅力の情報発信 古民家カフェの運営(継続) 民家園の特色を活かした継続的な商品の開発(毎年2点) 工芸館2階を活用した藍染め以外のイベントの実施 ワークショップ等のイベントのインバウンド対応 ◎円滑な移行に向けた次期指定管理者の募集及び選定 指定管理者変更になった場合の円滑な移行 ◎博物館法の一部改正による登録博物館の再登録 研修機会の確保(市職員年1回以上)	＜1(3)4伝統工芸館・自主事業の充実＞ 本藍の継続的使用のためのスタッフの技術向上(研修継続) 藍染めの魅力の情報発信 自主事業の充実(年5回以上) 古民家カフェの運営(継続) 指定管理者変更になった場合の円滑な移行 コロナ終息後、外国人向け藍染めプログラムの再開 再掲＜2(2)1来園者サービスの向上＞ 休憩スペースの充実とメンテナンス→2(2)2へ 民家園の特色を活かした継続的な商品開発(毎年2点) 指定管理者変更になった場合のショップの円滑な移行 さまざまな来園者に配慮したハード面、ソフト面での環境の整備(バリアフリー、外国人対応)→2(2)1へ	指定管理者による各種自主事業の実施(ペーゴマ大会、春と秋の古民家カフェ営業、ワークショップの実施等) 民家園の特色を活かした新商品・カプセルトイの開発(5点) ショップ商品表示の日英併記化 伝統工芸館を活用した藍染の魅力発信事業の推進(藍染講座の実施、ミニ展示開催(5回)、展示品の販売(Tシャツ他)、藍染め新商品の開発(5点)、SNSを使用した工芸館からの情報発信等) 工芸館2階を活用した藍染め以外のイベントの実施 体験・講座のスムーズな申込みためのシステム運用 通販事業への積極的な取り組み ワークショップ等のイベントのインバウンド対応 ◎他団体と共に民家園・伝統工芸館を組み込んだ企画構成を検討 ◎登録博物館の再登録に向けた資料作成 庁内外の研修への参加(市職員年1回以上)	再掲＜2(2)1来園者サービスの向上＞ 日陰で座って休める場所の増設、園路の日陰箇所案内→2(2)1へ 民家園の特色を活かした新商品・カプセルトイの開発(5点) 券売キャッシュレス決済導入後の検証 ショップ商品表示の日英併記化(継続) 小さな「バリア」の継続的点検と逐次対応→2(2)1へ 伝統工芸館空調設備の改善→2(2)1へ ＜1(3)4伝統工芸館・自主事業の充実＞ 出張ワークショップや物販の実施 体験・講座のスムーズな申込みためのシステム運用(継続) SNSを使用した伝統工芸館からの情報発信(継続) ミニ展示開催(5回) 展示品の販売(Tシャツ他) 藍染め新商品の開発(5点) 自主事業イベントの充実(ペーゴマ大会他) 春と秋の古民家カフェ営業(運営継続) 通販事業への積極的な取り組み(新商品の追加、広報強化) ワークショップ等のイベントのインバウンド対応 工芸館2階を活用した藍染め以外のイベントの実施 緑化フェア開催に向けた協力 再掲＜2(1)1運営体制の整備・研修の充実＞ 運営基本方針の周知(公式サイト等) 庁内外の研修への参加(市職員1回以上) 事業評価の実施と活用(実施と公表)→1(1)3へ 窓口の事例等を明文化した民家園ルールブックの整備(継続)→1(1)3へ	

2ボランティア、市民活動団体、生田緑地マネジメント会議との協働 (運営方針3-ア-イ)(ウ)	伝統芸能公演の実施(年1回) 市民団体との連携による昔話公演(年25回) 炉端の会、民技会との連携の強化 両者との協力者会議による運営改善(年1回) 生田緑地マネジメント会議・自然環境管理保全 会議との連携(年5回会議出席)	再掲(1(3)1各種事業の充実) 自由参加型・体験型事業の充実→1(2)1へ 生田緑地他館等との連携事業の充実(年2回)→ 3(2)1へ 旧所在地交流事業の実施(年1回以上)→3(2)1 へ 伝統芸能公演の実施(年1回) 市民団体との連携による昔話公演(年25回) <1(3)3市民活動団体との連携> 炉端の会、民技会との連携の強化 両者との協力者会議による運営改善(年1回) 生田緑地マネジメント会議・自然環境管理保全 会議との連携(年7回会議出席)	伝統芸能公演の開催(年1回、人形浄瑠璃) 昔話公演(年25回) 協力者会議開催(年1回) 炉端の会との協働(各種行事での協働、チーム 活動の活性化支援、外部講師招聘を含む学習 会の実施) 民技会新人研修(1回) 生田緑地マネジメント会議への出席・意見聴取(2 回)	再掲(1(3)1各種事業(講座・ワークショップ・催 事)の充実) 体験講座の実施(竹細工、わら細工、機織り)→1 (2)1へ 夏休み子供向け講座の実施(1回) 当日参加型体験事業(昔遊び、七夕他)→1(2) 1へ 科学館との連携事業実施(七夕、月見)→3(2)1 へ 旧所在地交流事業の実施(南砺市)→3(2)1へ 伝統芸能公演の開催(1回、歌舞伎) 昔話公演(25回) 夜間公開(2日間)→1(2)1へ ゴールデンウィークでのワークショップ実施(2種) →1(2)1へ <1(3)3市民活動団体との連携> 協力者会議開催(1回) 炉端の会との協働(各種行事での協働、チーム 活動の活性化支援) 民技会新人研修(1回) 生田緑地マネジメント会議への出席・意見聴取(5 回)	
---	---	--	--	--	--

(2)多様な主体との事業連携

現状：七夕や月見など科学館と連携した事業を実施している。施設の特長を活かし、古民家の旧所在地と連携した事業として各地の芸能公演や物産展などを行っている。博物館実習や実測実習等により大学との連携を図り、将来的な文化財の維持管理に役立っている。					
実施目標	中期目標(3年、R9まで)(目標水準)	【参考】R4～R6中期目標	令和7年度計画(目標水準) (◎はR7新規)	【参考】令和6年度計画(目標水準)	評価
1生田緑地各施設及び文化財建造物旧所在地との連携 (運営方針3-イー(ア)(イ))	生田緑地他館等との連携事業の充実(年2回) 新たなミュージアム関連事業への協力 旧所在地交流事業の実施(年1回以上)	再掲(1(3)1各種事業の充実) 自由参加型・体験型事業の充実→1(2)1へ 生田緑地他館等との連携事業の充実(年2回) 旧所在地交流事業の実施(年1回以上) 伝統芸能公演の実施(年1回)→3(1)2へ 市民団体との連携による昔話公演(年25回)→3 (1)2へ	科学館との連携事業実施(七夕、月見) 旧所在地交流事業の実施(南砺市) ◎旧所在地関連企画展の実施(南砺市)(再掲)	<1(3)1各種事業(講座・ワークショップ・催事)の 充実> 体験講座の実施(竹細工、わら細工、機織り)→1 (2)1へ 夏休み子供向け講座の実施(1回) 当日参加型体験事業(昔遊び、七夕他)→1(2) 1へ 科学館との連携事業実施(七夕、月見) 旧所在地交流事業の実施(南砺市) 伝統芸能公演の開催(1回、歌舞伎)→3(1)2へ 昔話公演(25回)→3(1)2へ 夜間公開(2日間)→1(2)1へ ゴールデンウィークでのワークショップ実施(2種) →1(2)1へ	

2大学、建築団体、研究機関との連携 (運営方針3-イー(ウ))	多摩区ゆかりの大学との連携 建築系学部を持つ大学、地域の建設業組合や伝統建築の技能団体等と連携した実習、実技講習の受入 文化財保存や防災に関する研究協力		博物館実習生の受け入れ 実測実習等大学等の特別利用受入 大岡資料の特別利用受入	再掲(1(3)2学校連携の充実) 小学校向け体験プログラム・見学の受入(150校)→1(2)2へ 中学校の職場体験受入→1(2)2へ GIGA端末の活用(児童向け事前学習資料、教員向け説明資料の配信)→1(2)2へ 博物館実習、実測実習等大学の利用受入 学校郷土資料室等整備支援(1校)→1(2)2へ	
------------------------------------	--	--	---	--	--

(3)広報の強化

現状：公式サイトの内容の充実を図っているほか、Xによる配信を開園日は原則、毎日実施している。外国人の来園者が増加していることから、公式サイトの英語版による案内や、羽田空港に外国人向けのリーフレットを用意するなどの広報に取組んでいる。					
実施目標	中期目標(3年、R9まで)(目標水準)	【参考】R4～R6中期目標	令和7年度計画(目標水準) (◎はR7新規)	【参考】令和6年度計画(目標水準)	評価
1観光拠点化に向けた広報 (運営方針3-ウー(ア))	公式サイトの充実 X・YouTubeを活用した広報 生田緑地他施設・他局・観光協会・地元商店会・神奈川県等と連携した広報 指定管理者構成企業のルート等を活用した広報の充実 指定管理者変更になった場合の公式サイトの円滑な移行 訪日外国人に向けた広報 企画展広報の充実	〈2(1)2広報の強化〉 公式サイトの充実 Twitter・YouTubeを活用した広報 生田緑地他施設・他局・観光協会・地元商店会・神奈川県等と連携した広報 指定管理者構成企業のルート等を活用した広報の充実 指定管理者変更になった場合の公式サイトの円滑な移行 コロナ終息後の訪日外国人に向けた広報	X・YouTubeの継続的な広報活用 Xフォロワー数の増加 来園者によるSNS等発信の促進 生田緑地各施設・他局・観光協会・神奈川県等と連携した外国人向けを含めた広報の実施 催事等における様々なメディアを利用した広報 ◎外国語リーフレット再整備に向けた対応	〈2(1)2広報の強化〉 X・YouTubeの継続的な広報活用 Xフォロワー数の増加(計3500人[5/22現在3,378人]) 来園者によるSNS等発信の促進 指定管理者構成企業のルート等を活用した広報 生田緑地他施設・他局・観光協会・神奈川県等と連携した外国人向けを含めた広報 催事等リリースの作成と発送の充実 近隣駅へのポスター掲出、チラシ配架の強化	
2伝統的建築技術や持続可能な暮らしについての情報発信 (運営方針3-ウー(イ)(ウ))	伝統的建築技術及び持続可能な暮らしについての情報発信 保存対策や防災対策の情報発信		公式サイトを活用した情報発信 博物館協会等を利用した情報発信		
評定意見					

日本民家園 展示建造物耐震補強・保存(屋根葺替等)修理工事 実施および計画表

日本民家園古民家補修事業費
日本民家園総合防災整備事業費

別紙

日本民家園古民家等耐震委員会(2013)において、構造補強優先順位が決定した。	耐震予定順	年度 西 暦	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
			2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035			
			補助事業	国庫	県補助	計 (委員会を除く)	診断	(委員会)	設計	申請・発注	工事	うち(応急修理を除く)	茅葺	1	0	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	2		
文化財 指定区分 国：8 国(有形民俗):1 県：10 市：6	事業内 数 訳	旧鈴木家住宅	診	設	工	工						(設)	屋																	
		旧三澤家住宅	診		設	設	入札不調	工	工	屋																				
		旧山下家住宅		診		設	設			工	工	屋	(屋) 応急修理						設(実)	申	工	屋							3	
		旧太田家住宅		診					設	設	申		工	工	屋															
		旧菅原家住宅		屋							診											設(実)	設(実)	申	工	屋	工	屋		4
旧井岡家住宅												診	設	設	工	瓦	工	瓦												
旧山田家住宅												診								設(実)	設(実)	申	工	屋					5	
旧作田家住宅										診	設(実)	申	申	工	屋	工	屋													
旧船越の舞台																					診	設	設	申	工	工				
旧佐々木家住宅														(屋) 応急修理				(屋) 応急修理	(屋) 応急修理			(設)	(工) 屋					2		
旧江向家住宅							H31 (屋) 応急修理→		診								設(実)	設(実)	申	申	工	屋	工	屋					2	
旧岩澤家住宅								屋													診	設	設	申	工	工	屋			
旧野原家住宅														(設)		(工) 屋	(工) 屋												1	
旧北村家住宅												(屋) 応急修理		(設)	(工) 屋	(工) 屋														
旧清宮家住宅												設・屋											診	設	設	申				
旧広瀬家住宅										屋												診	設	設	申	工	工	屋		
旧工藤家住宅					屋							(屋) 応急修理					(設)	(工) 屋	(工) 屋										3	
旧伊藤家住宅												(屋) 応急修理		(設)	(工) 屋											診	設			
佐地家供待																														
蚕影山祠堂						屋							(設)	屋																
水車小屋							屋																							
木小屋									(屋) 一軽易工事																					
沖永良部の高倉												(設)	屋																	
船頭小屋・小泉家便所・佐々木家井戸														(設)	杉	杉														
原家																														

・工事の順番は、屋根の破損状況や災害被害等によって変更となる場合がある。

・委員会(日本民家園古民家等耐震委員会)は、耐震診断及び耐震設計の際に開催される。

屋根葺替
優先順
↓

葺材
↓

茅

板

茅

茅

茅

瓦

茅

茅

瓦

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

茅

診 …耐震診断 設 …耐震設計 基:基本、実:実施、 (設) …耐震補強を伴わない設計 申 …積算・補助金申請・発注準備 工 …耐震補強工事 (工) …耐震補強を伴わない工事 屋 …茅葺屋根工事 (差葺含む) …合掌造

202505